

1章

景観計画区域

1. 景観計画区域

本計画の対象区域(景観計画区域)は福岡市全域とします。

2. 景観形成の構成

景観形成の構成として、福岡市全域に関する景観形成(階層1)、その上にゾーンごとの景観形成(階層2)、一番上に都市景観形成地区(階層3)の景観形成として基準を定めます。

(階層1)および(階層2)の区域や景観形成方針については、第1章及び第2章、(階層3)の都市景観形成地区については、第4章を参照してください。

そして

階層 3 都市景観形成地区の
景観形成方針

(都市景観形成地区の方針を優先)

地区別景観形成基準

次に

階層 2 ゾーンごとの
景観形成方針

ゾーン別基準

まず

階層 1 福岡市の
景観形成方針

共通基準

<都市景観形成地区>

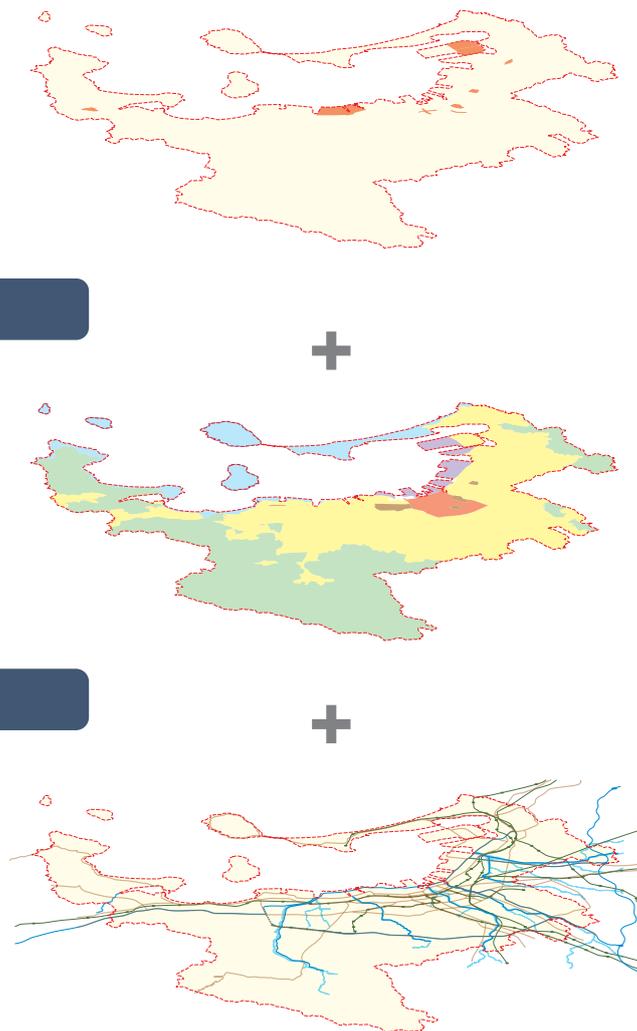
地区の個性や特性に応じた
景観形成を目指します
(第4章参照)

<ゾーンごと>

地域の特性や上位計画にお
ける将来の都市構造などを基
としたゾーニングによるきめ
細かな景観形成を目指します

<福岡市全域>

魅力と心地よさが感じられる
都市景観の形成を目指します



2章

良好な景観の形成に関する方針

第1節 景観計画区域のゾーン区分

市域を地域特性に応じ、下図のように6つのゾーンに区分し、福岡市の景観特性や景観形成の基本方向を踏まえ、それぞれの特性を生かした景観形成方針を定めます。

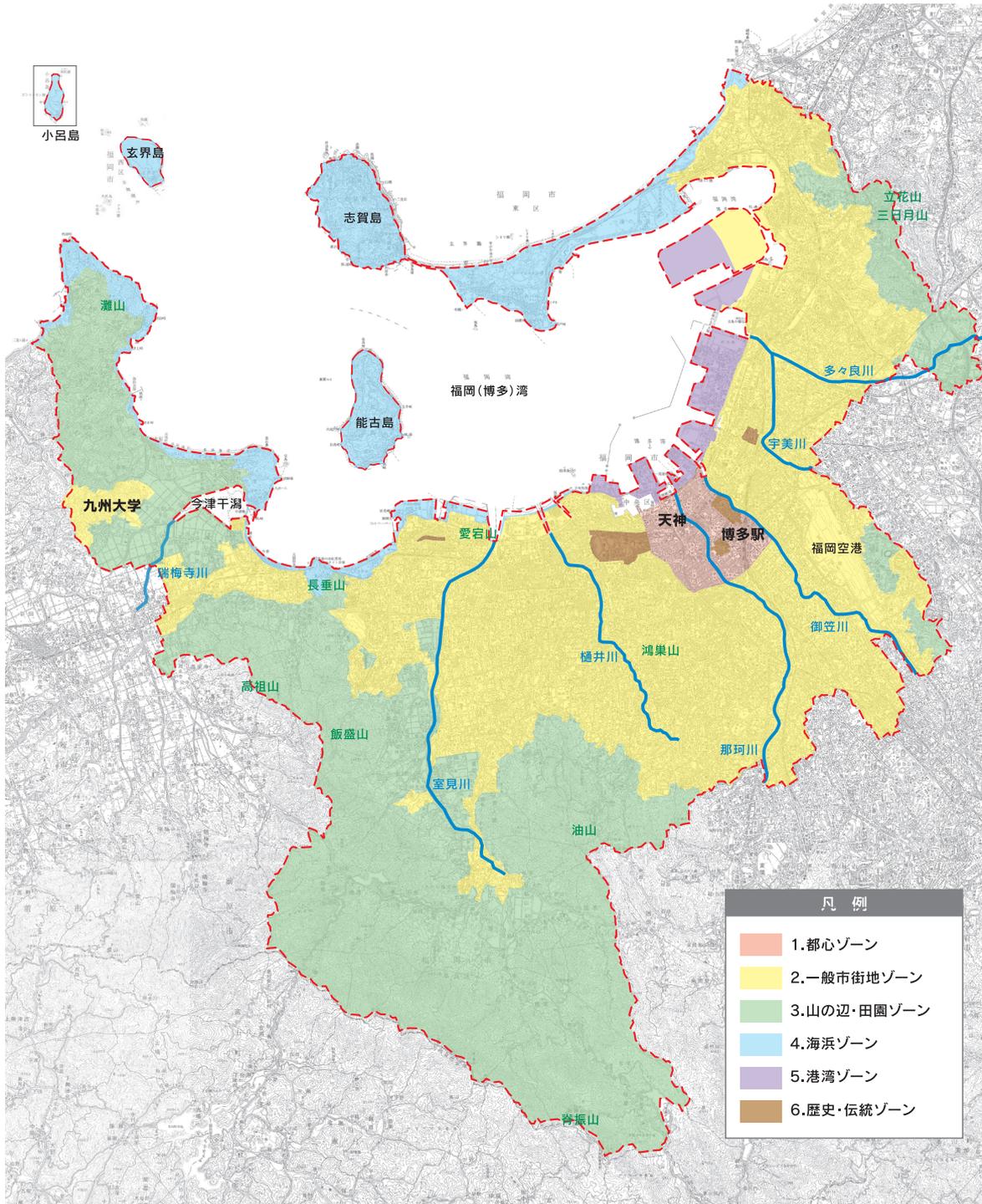


図 景観計画区域のゾーン区分

第2節 ゾーンごとの景観特性と景観形成方針

(1) 都心ゾーン

<景観特性>

- 都心ゾーンの中心部には、都心主軸を構成するメインストリート(大博通り、昭和通り、明治通り、渡辺通り、住吉通り、国体道路)や那珂川、博多川が流れています。
- 地形的・歴史的に、那珂川をはさんで福岡部と博多部からなり、それぞれに多様な街並みや賑わいの場所が形成されています。川沿いは都心において水辺や風を感じることもできる貴重な空間であり、福岡を代表する景観の一つになっています。
- 天神、博多駅周辺において、交流を支える交通環境を備えています。
- 都心部には、東西に御供所地区と福岡城址(舞鶴公園)という福岡市を代表する歴史的環境地区が存在します。
- 各メインストリートは、建物壁面線や歩行者空間の設えなど、統一感のある街並みになっています。

<景観形成方針>

- ・都心ゾーンは交通結節機能を有していることを背景に、都市機能が集積する地区であり、天神地区や博多駅周辺地区では、福岡市の顔となるような街並みの形成に努めます。
- ・櫛田神社等の寺社、赤煉瓦文化館に代表される近代建築等の歴史的資産を核とし、歴史や伝統を活用した景観の保全・創出に努めます。
- ・西中洲地区では地域主体で情緒ある路地空間づくりに向けた景観誘導を行います。
- ・須崎公園、天神中央公園や警固公園等を核として、大博通りや明治通り、渡辺通り等のメインストリート、那珂川、博多川等の河川を軸とした水と緑のネットワークの積極的な形成を図るとともに、市民や来訪者が楽しめる花と緑豊かな空間を創出し、賑わいのある都市景観の形成に努めます。
- ・都心の多様な景観要素を結ぶ通りや広場をはじめとする都心空間の魅力向上を図るため、パブリックアート¹⁾やウォールアートなど様々なアートの設置を促進するなど、彩りある景観づくりに努めます。
- ・建築物等の計画を行う際は、広場などのオープンスペースを活用し、水辺や緑、文化芸術、歴史などにより、彩りと潤い、賑わいがある空間演出を促進し、魅力的な景観づくりに努めます。



博多駅前広場の賑わい
(JR 博多駅)



旧大名小跡地を活用した憩いの空間
(福岡大名ガーデンシティ)



都心中心部の緑溢れる空間
(アクロス福岡・天神中央公園)

1)パブリックアート:オープンスペースに設置される芸術作品。

(2) 一般市街地ゾーン

<景観特性>

- 東部(香椎・千早)、南部(大橋)、西部(西新・藤崎・シーサイドももち)の広域拠点では、交通結節機能の高さを生かし、都市活力を担いつつ、行政区や市域を超えた広範な生活圏域の中心として、商業・業務機能や市民サービス機能など諸機能が集積しています。
- 多々良川、那珂川、室見川などが親水性のある河川空間として整備され、地域住民に広く活用されています。
- 国道202号や明治通り、国道3号などの幹線道路沿線に立地する建築物は、高層化の傾向があります。また、幹線道路沿道では日常生活に必要な商業施設が立地し、広告・看板が多く掲出されています。
- 姪浜や箱崎は古くからの街道として栄え、伝統ある寺社や町家などが歴史的な雰囲気を出し、ヒューマンスケール²⁾の街並みになっています。

<景観形成方針>

- ・福岡市内各所の公園緑地において、市民や企業などの多様な主体と共働し、まちに彩りと潤いを与え、賑わいや憩いを創出する、花と緑豊かなまちづくりに努めます。
- ・多々良川、那珂川、室見川など、街中を流れる河川や公園緑地等の整備を進め、水と緑のネットワークの形成を図り、自然のやすらぎを感じさせる景観づくりに努めます。
- ・広域拠点では、親しみやすく、限界性のある、生き生きとした個性豊かな景観づくりに努めます。
- ・九州大学箱崎キャンパス跡地などでは、周辺との調和と一体的なまちづくりに向けて、統一感ある街並みの形成に努めます。
- ・その他の地区では、歴史資源の活用、花と緑やアートによる彩りある豊かな景観づくりに努めます。
- ・建築物等の計画を行う際には、隣接地や周辺の街並みに調和した景観づくりに努めます。



旧工学部本館※
(九州大学箱崎キャンパス跡地)



シーサイドももちの街並み
(百道浜)



アイランドシティの街並み
(香椎照葉)

※…提供:九州大学広報課

2)ヒューマンスケール:物や空間の大きさを人間のサイズと比較してスケールとして表すもの。

(3) 山の辺・田園ゾーン

<景観特性>

- 福岡市西部に広がる田園地帯は福岡市内最大の近郊農業地帯となっており、伸びやかな田園景観が広がっています。
- 油山は市民の森として親しまれ、憩いややすらぎを与えているとともに、飯盛山や脊振山、立花山等の山並みが一体的なみどりとなって市街地からの背景を構成しています。また、山からの眺望は、市街地が海と山に囲まれている福岡らしさを醸し出す都市構造を実感できるパノラマ景観になっています。
- 山裾には農家住宅等の集落が分布し、落ち着いた佇まいで山の辺の景観に調和しています。

<景観形成方針>

- ・背景となる山並みや丘陵地等の緑地あるいは田園地帯の眺望を確保し、広がりのある景観の保全に努めます。
- ・歴史的資源を保全・活用するとともに、周囲の自然景観を生かした景観づくりに努めます。
- ・レクリエーション施設を計画する場合は、自然環境に配慮し、自然と調和した景観づくりに努めます。



身近に豊かな自然を感じる河川敷
(室見川)



伸びやかな田園風景
(元岡)



山並みと市街地が織りなす風景
(油山)

(4) 海浜ゾーン

<景観特性>

- 海の中道、志賀島、玄界島、糸島半島、生の松原、能古島などのみどりが大陸との交流の歴史の源となる博多湾を囲み、水面と一体となって福岡らしい景観を形成しており、博多湾からの眺望や博多湾への眺望は福岡を代表する眺望景観のひとつになっています。
- 生の松原から糸島半島、また、志賀島から海の中道にかけては、自然海岸が残り、様々な海辺レジャーによって市民が海を肌で感じることができる貴重な海岸線となっています。
- シーサイドももち、北崎、志賀島、小戸周辺では親水性のある護岸や海浜緑地等が整備され、海辺レクリエーション施設として市民に親しまれています。

<景観形成方針>

- ・博多湾の眺望と、広がりのある景観の保全に努めます。
- ・市街地から博多湾を見たときの眺望や、遠景の広がりある景観に配慮し、建築物等の色彩や形態について、自然と調和した景観づくりに努めます。
- ・良好な自然海浜や松原等の緑地の保全に努めます。
- ・レクリエーションやリゾート施設を計画する場合は、博多湾の自然景観に配慮し、自然と調和した景観づくりに努めます。



穏やかな海と空の広がりを感じる道
(海の中道)



豊かな自然と美しい海を感じる海岸
(北崎)



海や砂浜を楽しむ人が多く訪れる空間
(シーサイドももち海浜公園)

(5) 港湾ゾーン

<景観特性>

- ウォーターフロント地区³⁾(中央ふ頭・博多ふ頭)には国際航路等の旅客ターミナルやコンベンション施設が集積し、国内外の人々が交流する海の玄関口としての交流拠点となっています。
- 須崎ふ頭、東浜ふ頭、箱崎ふ頭は、穀物・建設資材をはじめ多様な貨物を取り扱い、物流倉庫などが集積する、みなとらしい街並みになっています。
- 最新鋭の港湾施設を備えるアイランドシティは、対岸の香椎パークポートとともに国際物流拠点機能を果たし、大型コンテナクレーンを備えたコンテナターミナルなど、国際コンテナ港らしい湾岸景観を構成しています。

<景観形成方針>

- ・博多湾の自然環境と調和した美しいみなとづくりを進めるため、海からの眺望を大切にするとともに、後背市街地との調和を図る観点から、色彩への配慮や緑化等による修景に努めます。
- ・中央ふ頭・博多ふ頭(ウォーターフロント地区)においては、海辺を生かしたにぎわいや憩いの空間の創出など、市民や来訪者が楽しめる魅力ある景観づくりに努めます。
- ・アイランドシティや香椎パークポート地区においては、調和ある良好な港湾環境の創出や港の躍動感の演出を図るため、周辺と調和した建築物等の色彩計画や、緑化等による景観づくりに努めます。



博多湾を間近に感じる空間
(ベイサイドプレイス博多)



クルーズ船とクルーズセンター
(中央ふ頭)



港湾の躍動を感じるコンテナクレーン
(アイランドシティ)

3)ウォーターフロント地区：国際会議や展示会などのMICE(マイス)が開催され、クルーズ船や国内外の定期旅客船が寄港するターミナルが集積する、概ね中央ふ頭・博多ふ頭のエリアを指す。

(6) 歴史・伝統ゾーン

<景観特性>

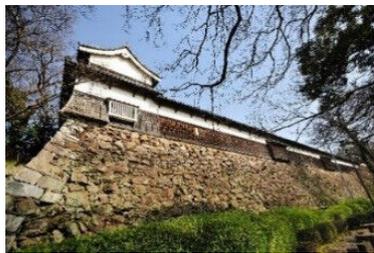
- 御供所地区は、中世より続く古刹である聖福寺・承天寺あるいは博多部の町家など、歴史的な街並みを残しています。
- 住吉神社は、住吉造という古い建築形式の佇まいを現代に残しています。
- 舞鶴公園・大濠公園地区では、両公園の一体的な活用を図るセントラルパーク構想により、一体感のある緑地空間づくり、重層的な歴史資源を生かした空間づくりなどが進められています。
- 姪浜や箱崎は古くからの街道として栄え、伝統ある寺社や町家などが歴史的な雰囲気を出し、ヒューマンスケールの街並みになっています。

<景観形成方針>

- ・歴史資源である神社や仏閣などを核とし、建築物の高さや形態・意匠などの景観誘導を行いながら、視点場⁴⁾からの見え方や周辺の通りなども含めて歴史や伝統を生かした魅力ある景観形成に努めます。
- ・舞鶴公園・大濠公園地区では、みどりと歴史資源を生かした空間づくりを進めるとともに、周辺地域においても風格とゆとりのある景観づくりを進めます。



博多旧市街のシンボル
(御供所地区)



江戸時代から現在の位置を
保っている唯一の櫓
(舞鶴公園・大濠公園地区)



多彩な歴史に彩られた文化財
(宮崎宮地区)

4) 視点場：視点(観察者)周囲のまとまりを持った領域で前景要素が介入するもの。視点の存在する空間。